

2023 · 9 · 23

杉田水脈氏
もう議員の資格はない

現職の国会議員が、公の機関から「人権侵犯」を認定されるとは、驚きあきれ。重く受け止めるなら、ただちに反省の弁を述べるのが当然な

対策などを議論する党の会合で「女性はいくらでもウソをつける」と発言したり、人権感覚が疑われる言動を再三繰り返してきた。

現をつたい、差別を禁じてい
る。国會議員が自らその理念
を踏みにじる」とは許されな
い。在日コリアンの人たちへ
の差別意識も看過できない。

のに、それもない。過去の謝罪が本心だったか疑わしく、もはや、議員を続ける資格はないと言つぽかない。

自民党の杉田水脈衆院議員の2016年のアイヌ民族に関するブログへの投稿が、人権侵犯にあたると、札幌法務局が認定し、人権を尊重するよう「啓発」を行つたことが明らかになつた。

昨年夏、岸田内閣の総務政務官に起用されたるも、国会などで厳しい批判を浴び、一口グへの書き込みについては、総務相の指示を受け、謝罪、撤回した。ただ、「私のつたない表現で差別したかのようになつてしまった」と、差別とは認めていなかつた。

今回の法務局の事実認定と啓発をどう受け止めたのか、

自民党の責任は極めて重い。人権意識に欠け、多様性の尊重という社会の流れにも逆行する信条の持ち主と知りながら、野党の落選議員だった杉田氏を引き入れ、衆院選の比例区名簿で優遇し、2度当選させた。ここに及んでなお誠実に対応しない杉田氏を守り続けるなら、人権侵犯に加担していると見られても仕

国連の会議に日本から参加した人たちを「チマチヨゴリやアイヌの民族衣装のコスプレおばさんまで登場。完全に品格に問題があります」などと表現。当事者の女性が、救済を申し立てていた。

救済を申し立てていた人たちにどう向き合うのか。杉田氏の事務所は「ノーコメント」で、本人の口からは、いまだに何の説明もない。公職にある者としての最低限の務めを放棄している。

方あるまい。
インターネット上の誹謗中傷が社会問題となるなか、
政府は省庁を越えて対策に苦慮している。少數派を攻撃して平然としている与党議員を放置し続けるのか。いつたん

杉田氏は、同性カップルを
愈頭に「『生産性』がない」と
雑誌に寄稿したり、性暴力

4年前にできたアイヌ施策
推進法は、アイヌの人々が誇
りを持って暮らせる社会の実

は杉田氏を政務官に起用した、岸田首相の人権感覚もまた問われている。